

中央大学リーガル・キャリア・サポート委員会主催
業務・採用等説明会（2014年5月26日開催）

参議院法制局

中央大学法科大学院では、リーガル・キャリア・サポート委員会を組織し、在学生・修了生のみなさんに対して進路決定・就職に関するサポートを行っています。

今回の「業務・採用等説明会」は、参議院法制局の仕事の特徴や魅力・面白さなどについて、尾崎陽一さんと本学OBの信谷彰さんにお話を伺いました。



はじめに尾崎さんから参議院法制局の組織、業務内容、勤務条件や福利厚生等の概要について説明がありました。さらに法制度に関わっている職員が50名程というお話で、少数精鋭で頑張っていることがわかりました。

次に信谷さんからご自分の経験談が披露されました。

勤務経験の中から、*携わった法案の考え方が反映された形で合意に至ったこと、その際、国会の外ではわからない”政治の力”を実感したこと、上司や議員の方々への説明や説得をするためのコミュニケーション

能力や条文化するための言葉に対する”敏感さ”が重要であることを認識したとのお話がありました。

入局後の研修としては、1年目から3年目までの職員を対象として、先輩の指導の下、議員から架空の依頼を想定した立案作業を行う立案研修があり、これによって立案に必要な知識・能力を養うことができる等のお話がありました。



さらに、政権交代やねじれ国会という状況の下で、参議院議員からの問合せなどで緊張感のある対応を迫られたほか、採用関係などの総務的な業務も経験したとのことでした。特に、東日本大震災が起こった際には多くの案件が錯綜し、深夜まで作業に追われたことなどは、非常に大変な体験であったとのお話でした。

最後に、参議院法制局の魅力として、*現に生じているタイムリーな問題に対応する法制度の構築に係ることができる、*様々な分野の法律に触れられる、*大学

院で得た法律の知識・法的思考を活かせる、などのお話があり、参議院法制局の魅力が大いに理解できた説明会でした。

リーガル・キャリア・サポート委員会では、今後も講演会等のイベントを実施していきます。在学生また修了生のみなさん、積極的にご参加ください。